

7. 今後の方向性と具体的な取り組み

対応 地域住民、企業の広範な参加を促進する。

「総合治水」の推進にあたっては、水マスタープランにおける多目的・多自然・多機能化への取組みを参考として、地域住民、企業の広範な参加を促す方向に発展させることも重要である。

水マスタープランの取組み

鶴見川や新河岸川(柳瀬川)では市民、企業、行政の連携による水マスタープラン策定の取組みが始まっている。



鶴見川水マスタープランの取組み

対応 総合治水対策のフォローアップの充実に努める。

降雨量や流量あるいは市街化の動向などの基礎的なデータを継続的に収集し、より良い流域づくりに資する、より効果的で費用対効果の高い手法を検討するなど引き続きPLAN-DO-SEEのサイクルによる取り組みの展開が必要である。

